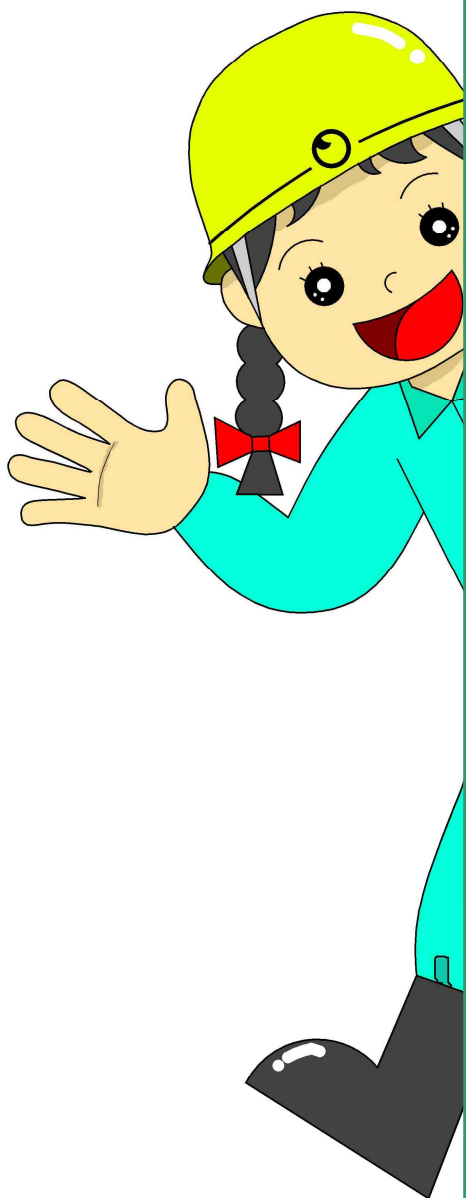


エコアクション21



環境経営レポート

対象期間 令和6年4月～令和7年3月

有限会社 藤本組

高知県高岡郡佐川町永野1933番地

発行日令和7年5月10日

目 次

1. 組織の概要	・・・1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	・・・2.3
3. 環境経営方針	・・・4
4. 環境管理組織体制	・・・5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・・・6
6. 環境経営目標	・・・7
7. 環境経営計画	・・・8
8. 環境経営目標の実績	・・・9
9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	
10. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・10
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・11
12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	・・・12
13. その他の取組	・・・13

発行日： 令和 7年 5月 10日

発行責任者:環境管理責任者 藤本 早智子

次回発行予定:令和 8年 5月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 藤本組

【代表者】 代表取締役 藤本 康兒

【所在地】

本社 〒789-1231 高知県高岡郡佐川町永野1933

倉庫 〒789-1231 高知県高岡郡佐川町永野2829

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者 取締役 藤本 早智子

連絡先担当者 取締役 藤本 早智子

連絡先 TEL: 0889-22-3338

FAX: 0889-22-4353

E-mail: fujimoto@coda.ocn.ne.jp

【事業活動】

土木建設業

建設業許可

許可番号 高知県知事 特 5-002874

許可年月日 令和 6年 2月 22日

建設業の種類 特定建設業

土木工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業

舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和 43年 2月 1日

資本金 2,000万円

活動規模	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
工事等の件数	件	16	17	14
売上高	(百万円)	156	186	104
従業員数	(名)	12	11	11
事業所敷地面積	(m ²)	2,402	2,402	2,402
事業所延べ床面	(m ²)	104	104	104
倉庫床面積	(m ²)	674.0	674.0	674.0
資機材置場面積	(m ²)	6,669	6,669	6,669

従業員数は、3月 31日現在

会計年度 6 月 ～ 5 月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

有限会社 藤本組 全組織・全活動

’建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)

【レポートの対象期間】

令和 6年4月1日～令和 7年3月31日

【環境経営レポートの発行日】

令和 7年 5月 10日

【作成責任者】

環境管理責任者

藤本 早智子



施工前



完成後

令和7年1月 完成
急傾第40-01-11号 西山急傾斜地崩壊対策工事

対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

SDGs推進企業登録 有限会社 藤本組では、令和5年2月14日、SDGs推進企業登録を行いました。
令和7年2月4日 進捗状況報告を行いました。

SDGs達成に向けた経営方針等

建設事業活動が自然環境に与える影響を認識し、積極的に環境保全に取り組みます。
豊かな社会基盤と、安全で快適な暮らしを構築する活動を行うことにより、SDGs達成に貢献していきます。

主な分野	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況
環境 社会 経済	工事現場において排出されるCO2排出量削減(2022)	エコアクション21におけるCO2排出量の10%削減 (2021:50,612kg→2030:45,550kg)	・エコアクション21活動として測定 2023 52,776kg (2022→2023)
環境 社会 経済	地域貢献及び社会貢献活動(災害協定・BCP・募金)への取組(2022)	持続可能なボランティア(清掃・寄付)活動への参加継続 (2021:10回→2030:12回)	・ロードボランティア 10回/年 ・寄付1件 災害協定 高知県BCP 継続取得
環境 社会 経済	グリーン製品購入金額率の引き上げ(2022)	グリーン製品購入金額率10%増加 (2021:26%→2030:36%)	・グリーン製品購入金額率 38% (2022→2023)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



重点的に意識するSDGs



3.環境経営方針

【環境理念】

有限会社 藤本組は、私たちの大切な「文教の町」佐川町の未来をより豊かな郷土とするため建設業を通じて環境保全に努めます。
建設業の活動が自然環境に影響を与えていることを認識し、豊かな社会基盤と快適な暮らしを構築するため環境保全に配慮した活動を行います。

【基本方針】

- 1.建設工事における、施工において環境に配慮した提案を行います。又、施工方法は、環境保全を念頭に自然環境と生物に配慮した工法を採択し実行します。
- 2.使用エネルギー(軽油・ガソリン・電気)の効率的な使用により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- 3.現場、事務所における廃棄物排出量の削減に努めます。又、廃棄物の分別を徹底しリサイクルの推進に務めます。
- 4.節水に努めます。
- 5.現場資材、事務用品のグリーン購入を推進します。
- 6.環境関連法規及び条例等を遵守します。
- 7.環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を実施します。
- 8.環境経営方針は従業員に周知徹底し、環境保全に関する意識の向上を図ります。
- 9.環境経営レポート等環境情報について広く外部公表します。
- 10.SDGsへの取組を推進します。

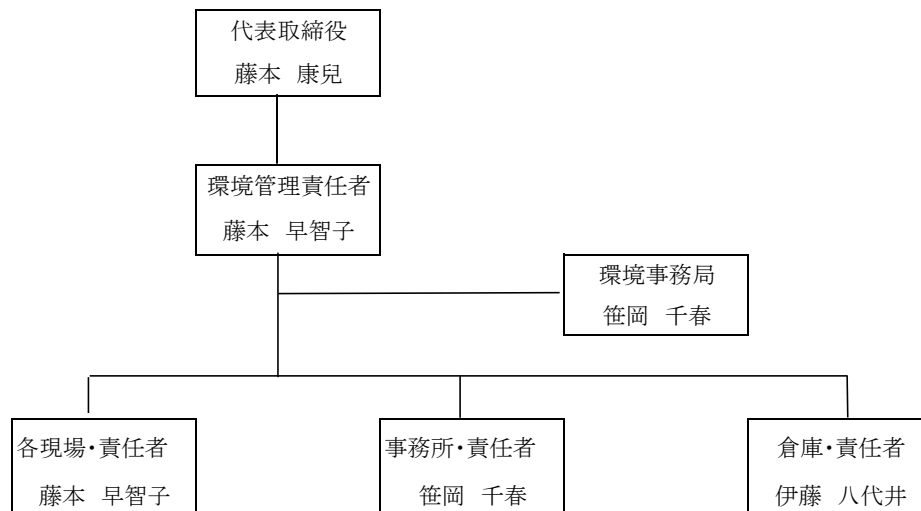
制定日 平成 23年 8月 31 日

改訂日 令和 3年 10 月 31 日

有限会社 藤本組

代表取締役 藤本 康兒

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し・指示 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し指示実施 ・環境経営方針の全従業員への周知、環境教育訓練実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営方針の全従業員への周知、環境教育訓練実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・緊急事態訓練の実施 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境活動計画の実施・達成を代表者に報告 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動に関係する緊急事態訓練の実施 ・環境活動の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境経営レポートの作成、公開
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

全体概況

- ・ 二酸化炭素の排出量については、多少増加ではあるがほぼ目標値を達成した。
- ・ 電力の削減については、事務所のエアコンの使用時間が増えた為、増加している。
- ・ 水の使用量は、漏水修理を行い大幅な節水を行うことができた為、令和5年度を基準値に改訂した。
- ・ 一般廃棄物排出量は、社内の清掃等で増加した。再資源化率は上がった。
- ・ 産業廃棄物排出量は、工事内容により排出量が減少となった。
- ・ 地域貢献、社会貢献活動については、ロードボランティア活動や環境団体への支援など行っている

認証・登録・宣言

こうちSDGs推進企業登録



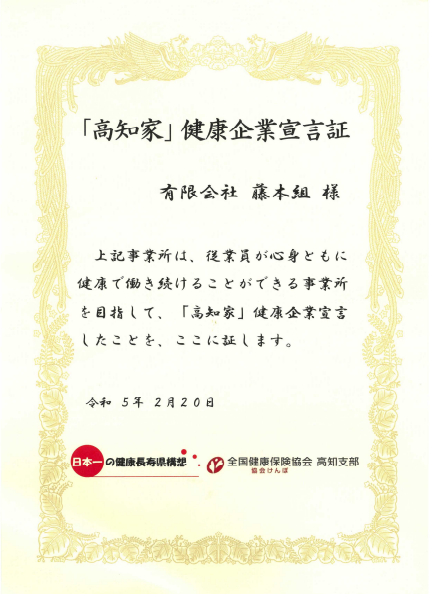
こうち脱炭素経営宣言



高知県ワークライフバランス推進認証企業



「高知家」健康企業宣言証



6. 環境経営目標

項目	単位	基準値	中長期目標				
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		令和4年度 実績値	R6.4～R7.3 (△2%)	R7.4～R8.3 (△3%)	R8.4～R9.3 (△4%)	R9.4～R10.3 (△5%)	R10.4～R11.3 (△6%)
燃料使用量							
ガソリン使用量	(ℓ)	3,686	3,612	3,575	3,538	3,501	3,464
軽油使用量	(ℓ)	17,066	16,724	16,554	16,383	16,212	16,042
灯油使用量	(ℓ)	558	547	541	536	530	525
電力使用量	(kWh)	13,534	13,263	13,128	12,993	12,857	12,722
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	59,532	58,341	57,746	57,150	56,555	55,960
用水使用量	(m ³)	32	31	31	31	30	30
一般廃棄物排出量	(kg)	422	414	410	405	401	397
産業廃棄物排出量	(t)	444	435	431	426	422	417
産業廃棄物再資源化率	(%)	97.4(100%)	100	100	100	100	100
グリーン購入量	(%)	80	80	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	(%)	全件	全件	全件	全件	全件	全件

*1. 電力のCO₂ 排出量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(元年度実績)

令和3年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

*2. 用水使用量について、漏水個所を修繕し基準値は令和5年度を実績値にした。

*3. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

*4. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使 ○濁水防止対策の実施

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○太陽光発電の利用(照明・ヘキサゴンライト等)

○型枠、工事看板への間伐材の使用

7. 環境経営計画

期間：令和 6年 4月 ～ 令和 7年 3月

項目		活動内容	責任者・担当者	関連SDGs
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機・車両のアイドリングの禁止。	藤本早智子・現場担当者	  
	削減	○重機・車両・機材の整備点検維持管理の徹底。	藤本早智子・現場担当者	
		○不必要な資機材は、帰り便げ持ち帰る。	藤本早智子・現場担当者	
		○同じ現場へは乗り合いに努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○忘れ物をしないよう準備する	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
		○1日に何度も出掛けない様にする。	藤本早智子・笹岡千春	
	電力使用量削減	○1日の作業終了後は主電源を切る。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	  
	削減	○夏場は寒冷紗や緑化により日陰を作る	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
		○小まめに電気を消灯する。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
		○ストーブや扇風機を有効的な使用方法とする。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
○パソコンの周辺機器は使用しない時は主電源を切る。		藤本早智子・笹岡千春		
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水に心がける。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
		○小まめに蛇口を閉める。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物の削減	○分別の徹底。(紙類・ダンボール・可燃物・不燃物・リサイクルの出来る物と出来ない物)	藤本早智子・笹岡千春	 
		○コピー用紙の裏紙の使用。	藤本早智子・笹岡千春	
	産業廃棄物の削減	○分別の徹底。	藤本早智子・現場担当者	
		○産業廃棄物はできるだけ、再資源化業者に委託処理する。	藤本早智子・現場担当者	
		○資機材の調達は、施工計画を立案し必要最小限の発注とする。	藤本早智子・現場担当者	
グリーン購入量		○詰替え商品の購入	藤本早智子・伊藤八代井	     
		○グリーン商品を優先的に使用する。	藤本早智子・伊藤八代井	
社会貢献活動	○ロードボランティアに参加。(道路清掃・ゴミ拾い等)	藤本早智子・伊藤八代井		
	○森林保全活動への協力。(寄付)	藤本早智子・現場担当者		
	○事務所の緑化スクリーンに朝顔を植栽する。	藤本早智子・現場担当者		
	○使用済み切手・ペルマークの収集	藤本早智子・伊藤八代井		
環境負荷の少ない工事 の実施		○施工計画を立案し、余分な作業をしないように努める。	藤本早智子・現場担当者	     
		○重機は、作業の施工性等勘案の上操作し、燃料の削減に努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○生態系に配慮した施工に努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○太陽光パネル使用の標識の使用に努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○環境負荷の少ない材料(リサイクル製品、県産品等)の使用に努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○低騒音・排出ガス対策型重機の使用に努める。	藤本早智子・現場担当者	
		○濁水防災対策の実施に努める。	藤本早智子・現場担当者	
SDGs活動		○SDGsへの取組	全社員	

8. 環境経営目標の実績

項目	単位	基準値	令和 6年度		達成率	評価
		令和4年度 実績値	目標 R6.4-R7.3	実績 R6.4-R7.3	実績値／目標値 %	
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ)	3,686	3,612	3,135	87%	○
軽油使用量	(ℓ)	17,066	16,724	17,805	106%	×
灯油使用量	(ℓ)	558	547	144	26%	○
電力使用量	(kWh)	13,534	13,263	15,410	116%	×
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	59,532	58,341	59,903	103%	×
用水使用量	(m ³)	32	31	26	84%	○
一般廃棄物排出量	(kg)	422	414	425	103%	×
産業廃棄物排出量	(t)	444	435	116	27%	○
産業廃棄物再資源化率	(%)	97.4(100%)	100	99.2	-	×
グリーン購入量	(%)	80	80	10	-	×
環境負荷の少ない工事	(%)	全件	全件	全件	-	○

- * 1. 電力のCO₂ 排出量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(令和3年度実績)
令和3年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO₂ /kWh)を使用した。
- * 2. 用水使用量について、漏水箇所を修繕し基準値は令和5年度を実績値にした。

9. 環境経営目標・環境経営計画取組結果の評価、次年度の取組内容

- ・CO₂ 排出量削減:軽油・電力の使用量が増加し、3%増加した。
- ・ガソリン使用量削減:工事での排水ポンプの稼働が終わり13%減少、本社、現場事務所ともに使用量が減少した。
- ・軽油使用量削減:5.4%増加した。工事での重機の稼働が増加したと判断した。
- ・灯油使用量削減:事務所の暖房に使用し73.9%減少した。エアコンとの併用で電力使用量は増加した。
- ・電力使用量削減:事務所は夏場・冬場に使用量が増加し20.2%増加した。現場の電力は使用量が減り、36.7%減少した。
全体では16%の増加になった。取組みは進んでいる。
- ・用水使用量削減:昨年度末漏水箇所の修繕をし基準値の改訂もしたが、17.9%の減少になった。
- ・一般廃棄物排出量削減:1.6%増加した。分別管理はできており、26%は資源ごみで再資源化した。
- ・産業廃棄物排出量削減:73.7%減少した。工事によるコンクリート殻・建設発生木材の発生が少なく大きく減少した。
埋め立て処分量も減少し、資源化率は上がった。
- ・グリーン購入量:事務用品の購入が少なく10%だった。
- ・環境負荷の少ない工事:全件で達成した。

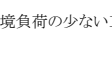
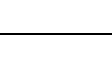
次年度も継続して、全社員によるCO₂排出量削減及び目標達成に努める。

■次年度の取組内容

- ・次年度も継続して取り組む。

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：令和 6年 4月 ～ 令和 7年 3月

項目		取組結果	責任者・担当者	見直し
			藤本早智子・現場担当者	
CO2 排出量削減   	燃料使用量	○重機・車両のアイドリングの禁止。	藤本早智子・現場担当者	うっかりミス無くすよう努め、今後も継続する。
	削減	○重機・車両・機材の整備点検維持管理の徹底。	藤本早智子・現場担当者	今後も継続して心がける。
		○不必要な資機材は、帰り便で持ち帰る。	藤本早智子・現場担当者	作業内容の周知に努める。
		○同じ現場へは乗り合いに努める。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	今後も継続して心がける。
		○忘れ物をしないよう準備する	藤本早智子・笹岡千春	朝礼時に一日の作業内容を徹底し準備する。
		○1日に何度も出掛けに様にする。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	今後も継続して心がける。
	電力使用量	○1日の作業終了後は主電源を切る。	藤本早智子・担当者 笹岡	現場での作業内容により電力を切る事が出来ない場合もあるが、努めるようにする。
	削減	○夏場は寒冷紗や緑化により日陰を作る。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	今後も継続して続ける。
		○小まめに電気を消灯する。	藤本早智子・笹岡千春	今後も継続して心がける。
		○スロープや扇風機を有効的な使用方法で使用する。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	今後も継続して心がける。
		○パソコンの周辺機器は使用しない時は主電源を切る。	藤本早智子・現場担当者 笹岡千春	切れない電源との区分を分ける。省エネタップの使用。
用水使用量削減 (排水量削減) 		○節水に心がける。	藤本早智子・笹岡千春	喚起プレートをつける。今後も継続して心がける。
		○蛇口の閉め忘れ防止シールによる意識喚起をする。	藤本早智子・笹岡千春	喚起プレートをつける。今後も継続して心がける。
廃棄物排出量削減  	一般廃棄物の削減	○分別の徹底。(紙類・ダンボール・可燃物・不燃物・リサイクルの出来る物と出来ない物)	藤本早智子・現場担当者	ゴミ箱を分け、実施。継続を心がける。
		○コピー用紙の裏紙の使用。	藤本早智子・現場担当者	裏面トレーを準備し使用する。継続を心がける。
	産業廃棄物の削減	○分別の徹底。	藤本早智子・現場担当者	今後も継続して心がける。
		○産業廃棄物はできるだけ、再資源化業者に委託処理する。	藤本早智子・伊藤八代井	今後も継続して心がける。
		○資機材の調達は、施工計画を立案し必要最小限の発注とする。	藤本早智子・伊藤八代井	綿密な計算をし、確認を怠らないよう心がける。
グリーン購入 		○詰替え商品の購入	藤本早智子・伊藤八代井	使用している。今後も継続して心がける。
		○グリーン商品を優先的に使用する。	藤本早智子・現場担当者	参加している。今後も継続して心がける。
社会貢献活動・環境美化活動      		○ロードボランティアに参加。(道路清掃・ゴミ拾い等)	藤本早智子・現場担当者	収集しています。今後も継続します。
		○森林保全活動への協力。(寄付)	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○事務所の緑化スクリーンに朝顔を植栽する。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○使用済み切手・ベルマークの収集	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
環境負荷の少ない工事の実施      		○施工計画を立案し、余分な作業をしないように努める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○重機は、作業の施工性等勘案の上操作し、燃料の削減に努める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○生態系に配慮した施工に努める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○太陽光パネル使用の標識の使用に務める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○低騒音・排出ガス対策型重機の使用や I C T活用工事に務める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する
		○濁水防止対策の実施に努める。	藤本早智子・現場担当者	1日、1週間、1ヵ月単位での工程計画の周知徹底に努力する

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	社長	◎	令和7年3月31日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	笹岡 千春	◎	令和7年3月31日
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	廃棄物排出時	工事担当者	◎	令和7年3月31日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回 毎年6月末	笹岡 千春	◎	令和7年3月31日
	規則第8条	○保管場所の表示(縦横60cm以上) 見易い箇所に掲示板を設置	必要時	工事担当者	該当なし	令和7年3月31日
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工事担当者	◎	令和7年3月31日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	工事担当者	◎	令和7年3月31日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体:床面積80m ² 以上 新築・増築:床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	工事担当者	◎	令和7年3月31日
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	工事担当者	該当なし	令和7年3月31日
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	工事担当者	該当なし	令和7年3月31日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン:200ℓ 第2石油類 灯油、軽油:1,000ℓ 第3石油類 重油:2,000ℓ 第4石油類 潤滑油:6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	藤本 早智子	該当なし	令和7年3月31日
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	藤本 早智子	該当なし	令和7年3月31日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	藤本 早智子	◎	令和7年3月31日
佐川町清流保全条例	第4条	○清流を保全するために必要な措置を講じるとともに清流保全に協力する	必要時	藤本 早智子	◎	令和7年3月31日
大気汚染防止法	第18条の7.1	○解体等工事の受注者は、特定工事に該当するかを調査を行うとともに、発注者に対し、当該調査の結果について書面を交付して工事開始までに説明すること	必要時	藤本 早智子	◎	令和7年3月31日
労働安全衛生法	第65条、 第65条2	○事業者は、有害な業務を行う屋内作業場、その他の作業場で政令21条に定めるものについては作業環境測定を行い記録すること	必要時	藤本 早智子	該当なし	令和7年3月31日
	第88条	○建設業に属する事業者は、特に大規模な仕事の場合はその計画を開始の日の30日前までに、労働基準監督署長に届け出ること				
フロン排出抑制法		自社保有重機にエアコン(第一種特定製品)が搭載されている場合エアコンとともに簡易点検、記録の保存	年4回	藤本 早智子	◎	令和7年3月31日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

過去3年間は、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんで

12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

■ 定期見直し
□ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等の違反、訴訟は無しです。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 無しです。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 対応しました。 <改善提案>				【環境経営方針】	
				□有 ■無	
				地域貢献等の活動を引き続き継続していきます。	
【目標・環境活動計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画】	
				変更の必要性: ■有 □無	
				工事受注状況・工事内容により影響を受けた実績値が多く、実績基準年よりは下がっているものもあるが、全体で見ると益々の努力が必要と考えます。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	【実施体制】	
ガソリン	○	○	削減に務め達成できた。	変更の必要性: □有 ■無 変更無し。	
軽油	×	×	削減に務めたが尚一層の努力をする。		
灯油	○	○	削減に務め達成できた。		
電力	×	×	削減に務めたが尚一層の努力をする。		
CO ₂	×	×	削減に務めたが尚一層の努力をする。		
用水	○	○	削減に務め達成できた。		
産業廃棄物	○	○	削減に務め達成できた。		
グリーン購入	△	△	務めて購入する。		
<改善提案>				【総括】 令和6年度は、灯油の削減は達成したが電力・ガソリンの使用が多くCO ₂ 排出量の削減が達成できませんでした。 産業廃棄物は工事内容に影響され、今年は排出量が減少したが引き続き削減に努めるように指示をしました。 用水使用量も大幅な減少ではあるが引き続き節水削減に努めます。 グリーン商品購入は備品購入に対し購入金額が低くなりました。 可能な限り購入していきます。 エコアクション21・SDGs活動に向けて、さらなる工夫や意識付けを行い引き続き継続していきます。	
【周囲の変化の状況】					
①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情・要望なし					
②環境関連法規制等の動向他					
<改善提案>					
代表者が自ら得た情報					
				令和7年5月10日 藤本 康児	

13. その他の取組

1. 環境団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
森と緑の会	一般寄付	2024年

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月	参加人数
ロードボランティア(土木の日)	令和6年11月18日	3人